News Release

2011年3月22日

ランクセス、2010 年度第 4 四半期 / 通年の業績を発表

～ 顕著な伸びを記録し、成長軌道を持続 ～

ランクセス株式会社

- 2010 年通年の売上高: 71 億ユーロ（前年比 41%増）
- 特別項目調整前EBITDA*[1]: 9 億 1,800 万ユーロ（前年比 97%増）
- 純利益: 3 億 7,900 万ユーロ（2009 年: 4,000 万ユーロ)
- 2010 年度配当提案:1 株 0.70 ユーロ（前年比 40%増）
- 2011 年の見通し: 売上高および特別項目調整前 EBITDA は前年より増加
- 「GOFOR1.4」戦略を推進

ドイツの特殊化学品メーカーのランクセス（LANXESS）は、2010 年度第 4 四半期と通年の業績を発表しました。戦略的経営および全般的な事業の回復基調により、2010 年の業績は顕著な伸びを記録しました。連結売上高は、販売量の増加および販売価格の値上げが牽引し、前年比 41%増の 71 億ユーロを達成しました。特別項目調整前EBITDAは、第 3 四半期業績発表における上方修正を上回る、前年比でほぼ倍増の 9 億 1,800 万ユーロとなりました。特別項目調整前EBITDAマージン*[2]は、12.9%（2009 年: 9.2%）となり、純利益は前年の約 10 倍の 3 億 7,900 万ユーロとなりました。

ランクセスの CEO であるアクセル・ハイトマンは、本日、デュッセルドルフで開催された業績発表で次のように述べています。「2010 年に好業績を達成したランクセスは、2011 年への好スタートを切り、持続的な成長軌道にあります。世界的なメガトレンドである車社会化、都市化、農業、水資源に向けたプレミアム製品と新興国市場への注力が成長の原動力となります」

2010 年第 4 四半期: 堅調な業績

2010 年第 4 四半期の売上高と利益は、好業績を達成した前年同期と比較しても、なお増加となりました。全 3 部門が販売量の増加、製品価格の値上げ、および有利な為替変動の恩恵を受け、第 4 四半期の連結売上高は、前年同期比 32%増の 18 億ユーロを達成しました。**パフォーマンスポリマーズ部門**の合成ゴム事業では、ドイツで義務化された冬季における冬用もしくは全天候型タイヤ装着規制が追い風となりました。

---

*[1] EBITDA は、税引前利益に、減価償却費、および支払利息を加算した金額です。
*[2] EBITDA マージンは、売上高に対する EBITDA の比率です。

グループの特別項目調整前 EBITDA は、前年同期比 19%増の 1 億 7,200 万ユーロとなりました。**アドバンスト中間体部門**は、農薬のエンドユーザー市場の回復を受けて、最大の成長率を達成しました。

特別項目調整前 EBITDA マージンは、合成ゴム事業における予定されたプラント改良工事および従業員への特別ボーナス支給のため 9.4%の微減となりました。純利益は、前年同期比 86%増の 2,600 万ユーロとなりました。

地域別業績: 新興国市場で活況

中南米地域の 2010 年度の売上高は、前年比 85%増の 9 億 5,500 万ユーロとなり、他地域と比べ最大の成長率を記録しました。同地域はランクセスグループの総売上高の 13%を占めています。ブラジルにおける**パフォーマンスポリマーズ部門**が主な牽引役となりました。

アジア太平洋地域の売上高は、前年比 43%増の 16 億ユーロとなり、グループの総売上高の 23%を占めています。インドと中国において買収した基礎化学品事業が連結業績に組み込まれたことが後押しし、同地域において**アドバンスト中間体部門**が最も堅調な伸びを記録しました。

EMEA(ドイツを除く欧州、中東、アフリカ)地域の売上高は、前年比 31%増の 20 億ユーロを達成し、引き続きグループ最大の売上を誇る地域となりました。グループの総売上高の 29%を占めています。特に、**パフォーマンスポリマーズ部門**が牽引役となりました。ロシア、トルコ、南アフリカは、同地域において最大の売上成長率を達成しました。

BRICs 諸国(ブラジル、ロシア、インド、中国)は、前年比 60%増の 16 億ユーロとなり、グループの総売上高の 23%(2009 年: 20%)を占めています。

北米地域の売上高は、前年比 50%増の 12 億ユーロで、グループの総売上高の 16%を占めます。同地域の**パフォーマンスポリマーズ部門**の売上高は前年比 50%以上の増加となりました。

ドイツの売上高は、前年比 24%増の 13 億ユーロで、グループの総売上高の 19%を占めます。**パフォーマンスポリマーズ部門**と**パフォーマンスケミカルズ部門**が二桁台の売上成長率を達成しました。

事業分野別の業績: メガトレンドが全部門の成長を牽引

パフォーマンスポリマーズ部門は、前年比 58%増の 38 億ユーロを達成し、2010 年度の部門別売上高において最大となりました。販売量の増加および製品価格の値上げが売上高の成長を牽引しました。同部門の特別項目調整前 EBITDA は、前年比で倍以上の 5 億 8,500 万ユーロとなりました。ブチルラバーおよびパフォーマンスブタジエンラバーズの両ビジネスユニットは、タイヤ買い替えおよび OEM 市場の回復から恩恵を受けました。テクニカルラバープロダクツおよびセミ

クリスタリンプロダクツの両ビジネスユニットは、全般的な需要の好転とマーケティング活動の強化により大幅な伸びを記録しました。

アドバンスト中間体部門の売上高は、販売量の増加、製品価格の値上げ、インドと中国における基礎化学品事業の買収が連結業績に組み込まれたことが牽引し、前年比 20%増の 13 億ユーロとなりました。特別項目調整前 EBITDA は、前年比 44%増の 2 億 2,200 万ユーロとなりました。基礎化学品ビジネスユニットおよびサルティゴは、農薬のエンドユーザー市場において年末に向け回復が見られました。さらに、基礎化学品ビジネスユニットは、自動車業界の回復を受け、年間を通じて好業績を達成しました。

パフォーマンスケミカルズ部門は、7 つの全ビジネスユニットの販売量が大幅に増加したことで、売上高は前年比 29%増の 20 億ユーロとなりました。最も高い販売量増加率を示したのは自動車産業関連のビジネスユニットでした。特別項目調整前 EBITDA は、前年比 54%増の 2 億 8,100 万ユーロとなりました。同部門において、皮革用化学品および機能性化学品の両ビジネスユニットが最も高い収益の伸びを達成しました。皮革用化学品ビジネスユニットの高収益率は、衣料分野、家具分野、自動車分野によるものです。

健全な財務体質を構築

2010 年の堅調な業績により、ランクセスは、強固なキャッシュフローと健全な財務体質を構築し、成長戦略を推進することが可能となりました。設備投資額は、前年比 82%増の 5 億 100 万ユーロ、研究開発費は、前年比 15%増の 1 億 1,600 万ユーロとなりました。

運転資本の変動前営業キャッシュフローは、前年比で倍以上の 7 億 2,500 万ユーロとなり、純負債は、前年比わずか 15%の増加で 9 億 1,300 万ユーロとなりました。

2011 年の設備投資額として、5 億 5,000 万ユーロから 6 億ユーロを予算計上しています。その大部分をシンガポールのプチルゴム工場用に確保しています。

CFO のマティアス・ツァハトは、次のように述べています。「ランクセスの健全な財務体質と現在の資金調達構造を勘案すると、投資計画は特段の支障なく遂行することができます」

配当増額を提案

ハイトマンは次のように述べています。「2010 年の好業績を反映し、前年比 40%増の1株あたり 0.70 ユーロ、総額約 5,800 万ユーロの配当増額を提案します。この提案は、5 月 18 日にケルンで開催される年次株主総会での承認を必要とします」

世界の従業員数が増加

2010 年末時点におけるランクセスの世界の従業員数は 310 名増加し、14,648 名となりました。この増加は、ランクセスの成長戦略に伴ったもので、新規採用の従業員の大半がアジア太平洋地域の採用となります。

2010 年の好業績を受けて、2010 年末に世界中の従業員に特別ボーナスとして、総額 2,000 万ユーロが支給されました。これは 2009 年の経済危機の際の業員の功労に感謝の意を表したものでもあります。

「GOFOR1.4」戦略を推進

2010 年 9 月にランクセスは、主要指標とする特別項目調整前 EBITDA の 2015 年の目標値を約 14 億ユーロに設定し、有機的成長と外部的成長の二路線成長戦略を通して達成する計画を発表しました。「GOFOR1.4」と称するこの中期利益目標は、多くのプロジェクトで構成されており、下記がその例です。

- ドイツ、米国、ブラジルにおいて高性能合成ゴム工場を拡大
- インド・ジャガディアにイオン交換樹脂工場を新設
- 中国・常州に皮革用化学品工場を新設
- 米国・ノースカロライナ州とインド・ジャガディアに高性能プラスチック製造施設を新設
- ドイツ・クレフェルド−ユルディンゲン工場内にホルマリン製造工場を新設
- 合成ゴムの一種であるエチレン・プロピレンジエンゴム（EPDM）の製造を行う、DSM エラストマーズ事業を買収
- タイヤ産業向け離型剤および加硫ブラダーのリーディングカンパニーである Darmex 社（本社：中南米）を買収
- シンジェンタ社の物質保護剤事業を買収

ハイトマンは次のように述べています。「ご覧の通り、ランクセスは意欲的な中期利益目標達成に向け取組んでいます」

今後の見通しに確信

2011 年は、さらに成長が期待できる年であり、売上高と特別項目調整前 EBITDA は 2010 年より増加すると予測しています。世界経済と化学産業は、引き続き成長を維持しますが、2010 年より低い成長率となるとみています。**アジア太平洋地域**と**中南米**の新興国市場は、最大の成長率を達成するとみています。

パフォーマンスポリマーズ部門は、タイヤと高性能プラスチックの需要増により成長が期待でき、**アドバンスト中間体部門**は、農薬における景気好転の恩恵を受けるとみています。**パフォーマンスケミカルズ部門**は、欧州および北米の建設産業の緩やかな回復、自動車分野の継続的発展から恩恵を受けると予測します。製造能力拡大を行うことで、全 3 部門はさらに伸長するとみています。

2011 年の平均為替レートは、1 ユーロあたり 1.40 米ドルをみています。また、エネルギーおよび原料コストの高騰が予測されます。政治的な混乱と多くの国の国債発行が高水準になるという景気後退に陥る可能性は残ります。

主要データ（単位：100 万ユーロ）

	2010年通年	2009年通年	変動率 (%)	2010年第4四半期	2009年第4四半期	変動率 (%)
売上高	7,120	5,057	+41	1,832	1,392	+32
特別項目調整前EBITDA	918	465	+97	172	144	+19
特別項目調整前EBITDA マージン	12.9%	9.2%		9.4%	10.3%	
純利益	379	40	>100	26	14	+86
1株あたり利益（EPS）	€4.56	€0.48	>100	€0.32	€0.17	+86

# # #

これは、ドイツ・レバクーゼンで3月17日に発表されたリリースをもとに、ランクセス株式会社が発表したものです。
この原文（英語）は、以下のURLにてご参照下さい。http://www.press.lanxess.com

ランクセスについて
ランクセスは、世界24カ国で事業を展開する大手特殊化学品メーカーです。2010年の総売上は71億ユーロにのぼり、全世界の従業員数は約 14,850人、世界中に45の拠点を展開しています。主な事業は、プラスチック、合成ゴム、中間体、特殊化学品の開発、製造とマーケティングです。ランクセスについての詳細は同社URLにてご確認下さい。http:// www.lanxess.co.jp

本件に関するお問い合わせ先：
ランクセス株式会社　コーポレートコミュニケーションズ
TEL : 03-5293-8005　FAX : 03-5219-9773
lanxess.japan@lanxess.com

免責について (Forward-Looking Statement):
このニュースリリースには、ランクセス経営陣による現在の仮定と今後の予測に基づく記述があります。既知あるいは未知の各種リスクや不確定性、その他の要素により、本頁に記載された予測と弊社の今後の総合売上高、財務状況、業績の数字が異なる場合があります。弊社は、ニュースリリースの記載事項を更新、もしくは今後の出来事や進展状況に合わせ、内容を変更する義務はないものとします。

(2011-00047J)